

JA全農えひめ情報

みくに～と

2021

4
Apr.

May
5





▲春の陽がまわる牛舎で



▲ご夫婦二人三脚で経営している



▲豊かな自然の中にある牛舎。牛の水場には山の湧き水をひいています



▲草を食む牛。食事の最中も頭を合わせて競い合っているのか、仲良しなのか…

県道を逸れ、小さな川沿いの道を上り詰めた山あいで、牛たちがのどかな刻を過ごしています。約30年、肉牛50頭余りを肥育する谷口貴さんの牛舎です。

市場で競り落とされた子牛たちは谷口牛舎で初顔合わせをします。頭を突き合わせて優位性を競い、自然と序列が定まっていきます。その様を見て、牛にストレスを与えないよう、強さの近い牛同士の部屋割りをします。

過去4回、愛媛県総合畜産共進会・肉牛（黒毛和種）の部で農林水産大臣賞（優等賞首席）受賞を誇る谷口さんは、牛の世話は「いかにストレスを除けるか、どれだけ早く異常を察知するか」だと言います。餌を食べに来ない、食べに来るがすぐ退く、よく食べるが食後の立ち姿がおかしい、目に元気がないなど、言葉をしゃべれない赤子を育てる親の如くの観察眼でしっかりと見守ります。また、牛との関係を「スポーツ選手とトレーナーのようなもの」だとも。「牛は本来100点満点の能力を持ち、世話次第で減点させてしまう」と、自身に厳しい一面をのぞかせます。

「受賞で認められるのはうれしいですが、本来は牛が貰つた賞だと思っています。肉の格付け時に気になつた点があれば、実際に食べて確認をしています。歩留まりがいいと精肉店も潤う、霜降りは消費者からおいしいと好まれる、みんなに喜ばれるぶれない味づくりの継続が大切です」。そこには「牛の命をいただき生活をさせてもらっている限り、命がけでいいものに育てていく」という強い思いがありました。

※「歩留まり」とは全頭の中で食用にできる割合。

牛の肥育 (宇和島市)



2021年4－5月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心で結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



初夏の日差しをうけてぐんぐんと成長するアスパラガス。その伸びは1日に8cmにもなるというから驚きですね。

白い小さなアスパラガスの花を集め花束に、リズミカルに軽やかに、妖精たちも動きまわる季節です。

私たちもアスパラガスから栄養をたくさんもらって、元気いっぱい！さあ、始動!!

●表紙：アスパラガスの妖精とリボン
はら ふみ（イラストレーター）

※『あぐり～ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心を一つにする（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.221

牛の肥育

②

〈特集〉

J A全農・愛媛県本部 「令和3年度事業計画」

⑦

機構改革と人事異動

⑧

全農愛媛県本部 令和3年度機構図＆ライン管理職等配置

⑨

THE・ねっとわーく

⑩

ふるさと ESSAY VOL.289

愛媛の自然に憧れて

岡内 ひかりさん

⑫

「JA全農えひめPresents 山瀬理恵子のアス飯®」
がラジオ局FM愛媛でスタート！

⑬

トピックス

⑮

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉タケノコ

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>



■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ

<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>

※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://ai-pax.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆えひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

～全力結集で挑戦し、未来を創る～

農業者の所得増大 農業生産の拡大 地域の活性化

グループをあげて実践します！

ました。消費の現場では、インバウンド需要の喪失や外食産業の低迷により需給が混乱したなか、在宅機会の増加による内食化や、eコマース・宅配による購買ニーズ、衛生・健康意識が高まりました。加えて、国民への安全・安心な食料供給の観点から国産農畜産物の価値が見直される機会となりました。

(2)

また、国内における生産年齢人口の減少や少子・共働き世帯の増加など社会構造の変化、および農業就業者の減少や高齢化、大規模経営体への農地集積等の農業を取り巻く環境変化は、今後も加速していくことが予想されます。

加えて、物流環境においては、ドライバーの高齢化や改正貨物自動車運送事業法における規制強化等の変化により、農畜産物や資材の流通体制の維持が危惧されています。

(3)一方、政府は令和2年3月に「食

1. 情勢認識
(1)新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態は、国内外の社会・経済活動に影響を与え、国民の暮らし方や働き方を大きく変容させました。

農業現場では、外国人技能実習生の来日制限により労働力不足の深刻さが増し、国内における労働力確保の重要性が高まり

料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、中小・家族経営など多様な経営体の活躍の促進や、農村振興施策の推進等の施策を定めました。また、農林水産業

の成長戦略として、2030年の成長戦略として、2030年の収益低下が顕在化し、組合員サービスの維持と経営基盤の確立のため、営農推進体制の強化や事業運営コストの削減など経済事業の収益力改善が急務となっています。

(4)

J Aにおいては信用・共済事業の収益低下が顕在化し、組合員サービスの維持と経営基盤の確立のため、営農推進体制の強化や事業運営コストの削減など経済事業の収益力改善が急務となっています。

(5)

豚熱(CSF)および高病原性鳥インフルエンザ等の重要な畜

疾病的予防措置に加え、台風等の自然災害を含む農業現場で発生した被害の復旧・復興に迅速に取り組む必要があります。

(6)

さらに、社会的な課題をふまえ

たSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みや、農業現場における多様な先端技術の導入・普及などデジタル化への対応も期待されています。

2. 令和3年度事業計画の基本的な考え方

(1)3か年計画の最終年度である3年度は、これまで本会がすすめ

てきた「生産基盤の確立」「食のトップブランドとしての地位の確立」「元気な地域社会づくりへの支援」「海外戦略の構築」「J Aへの支援強化」の最重要事業施策の実践を加速化します。

【3か年計画で定めた5年後、10年後を見据えた本会のめざす方向】

①作物別・品目別戦略策定による農業総産出額の計画的・段階的な拡大

②マーケットニーズをふまえた販売戦略の構築

③元気な地域社会づくりへの支援

④急変する海外動向に対応した新たな海外戦略の構築

⑤会員還元の最大化

(2)また、コロナ禍における生産現

場・消費形態、SDGsなど社会動向等の本会事業を取り巻く環境の変化や、国の「食料・農業・農村基本計画」に対応した施策の展開をはかります。加えて、

J Aの経済事業改革への対応や自然災害・重要な畜病からの復旧・復興、本会グループの事業競争力強化に取り組みます。

経営計画

1. 取扱計画

取扱高は、生活関連事業における石油の単価安およびコロナ禍による需要減等が見込まれる一方、園芸事業において元年度に発生した台風被害からの回復による取扱数量の増加などを見込み、4兆5,000億円を計画します。

2. 収支計画

取扱高の増加による事業総利益の増加と事業管理費を元年度実績並みに抑制することにより、事業利益は元年度実績を上回る水準となります。また、特別損益では保有施設の売却益等を織り込み、当期剰余金は98億円とします。

3. 財務計画

(1)自己資本計画

準備金・積立金は、事業開発積立金、情報システム開発積立金、農薬開発積立金の取崩しによる減少11億円、および利益準備金19億円、任意積立金67億円の増加を計画します。また、繰越剰余金23億円を計画します。

(2)施設等取得・処分計画

生産振興・販売力強化・物流合理化に向けた米穀農産および園芸関連の広域集出荷施設、生産者手取りの確保に向けた園芸関連の青果物パッケージセンターの取得などを計画し、250億円とします。

(3)外部出資計画

生産基盤拡大に向けた外部出資や輸出拡大に向けた子会社への增资などを計画し、4億円とします。

4. 要員計画

事業環境に対応した要員体制とするため、4年3月末の職員数は8,200名程度とします。

愛媛県本部 令和3年度事業計画

最重点施策

愛媛県本部では、第37回JA愛媛県大会で決議された愛媛農業の復興・さらなる発展に向けた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦、「地域の活性化」への貢献を基本目標とした「創造的自己改革の実践」に対し、重点事業施策を基本に、JAの総合事業を支援し、中期3か年事業である「農家手取り最大化プロジェクト」の最終年度としての取り組みおよび事業計画を着実に実践します。併せて、コロナ禍における事業環境変化に対し、迅速な施策の展開を図ります。

強化を図るとともに、JA組織整備への提案に向けた検討に取り組みます。

重点事項である「マーケットイン（実需者ニーズ）に基づく生産・販売事業の確立」「生産トータルコストの低減」「営農・経済事業の機能・体制強化」に加え、省力化・新技術等の普及や地域の実情に応じた多様な労働力支援体制の確立に向け、県域機能の発揮によるJA・農業者への支援に取り組み、生産・販売・購買事業一体となつた総合力の発揮と地域農業の振興に貢献していきます。

グループ会社

J A グループの会社として生産者・JA・消費者の期待に応えるよう、生産・加工・販売・購買・物流の各分野においてグループでの事業機能の向上を目指します。また、愛媛県本部グループ会社全体の健全経営を確立し、愛媛農業の振興支援に取り組みます。

農家手取り最大化プロジェクト

プロジェクトでは、農業生産基盤の確立と販売品取扱拡大を共通目標に、JA・関係部門の連携

事業別実施具体策

(1)営農食糧部

①「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた「農家手取り最大化プロジェクト」の部門間連携を強化し、重点品目の団地化・周年化に向けた検討に取り組みます。

②出向く活動（TAC等）強化

向け、JAの体制維持・強化を支援するとともに県域TACによる担い手への積極的な提案活動に取り組みます。

③「県域担い手サポートセンター」

および様々な労働力のマッチングによる生産基盤の維持・拡大と新規就農者の育成に努めます。

④関係機関と連携し、愛媛県産農畜産物の付加価値増大・消費拡大、食の安全・安心対策（GAP等）に取り組みます。

⑤米穀においては、大口法人・大

口生産者等への集約が進む中、作業性の向上や作期分散を図れる生産体制を提案し、必要面積・必要数量を確保するとともに需要動向を把握した中で品種別作付けを進めます。また、近年の異常気象および害虫被害による

収量減や品質低下を最小限に抑えるため、県・関連部署と連携し、基本的栽培技術の普及・適期防除の徹底を図り、収量確保につなげます。

⑥主食用米の集荷拡大に向けて、JATAC・指導員・関連部署

との連携を強化し、積極的に農家訪問を行うとともに、フレコン集荷の拡大・県本部による庭先集荷・事前契約の締結を行い、県内需要に応えられる数量確保を目指します。また、中食・外食用の業務用多収性品種については、地域に適応した品種選定を行い、安定して600kg/10a以上とれる栽培技術の確立を目指します。

⑦県育成品種「ひめの凜」について

JA受入体制の構築を図ることも、品質低下が著しい「ヒノヒカリ」からの切り替えを進めます。また、JAグループが一體となり、ブランド力向上を推進していくため、一元集荷・一元販売体制のさらなる強化を図ります。

⑧はだか麦について、安定生産・品質向上に向けた基本管理の徹

底を図ります。また、実需者・2次加工業者・流通業者と連携し、はだか麦の加工品の新規開発や既存商品の積極的なPR等を行って、需要拡大を目指します。

(2)園芸部

①西日本豪雨被災地の産地復旧に向け、JA・行政と連携し支援対応を図ります。

②自然災害や異常気象に左右されない生産量の安定維持を図るために、高品質果実生産支援事業等の活用による温州みかんの品質および正品率の向上に取り組みます。

③「愛媛チーム」としてJA域を

越えた既存集出荷施設の広域利用の促進をすすめ、出荷労力・コスト低減およびロットの拡大による販売力の強化に取り組みます。

④愛媛県産果実の消費拡大・購入促進を図るため、企画型販促等の店頭試食宣伝販売の充実、「オレンジロード」による果実の情報発信により消費者への効果的なPRに取り組みます。また、

コロナ禍の状況を踏まえ、WEBやデジタルを活用した宣伝活動にも取り組んでいきます。

⑤「愛媛チーム」としてJA域を

越えた既存集出荷施設の広域利用の促進をすすめ、出荷労力・コスト低減およびロットの拡大による販売力の強化に取り組みます。

⑥野菜の重点振興品目への生産振興対策による生産基盤の強化

機械化・省力化体系による生産規模の拡大を図ることで、取扱数量の維持・拡大を目指します。

⑦野菜の重点市場との連携による企画販売・相対取引の拡充など、生産者所得の増大と安定化に取り組みます。

⑧消費拡大および愛媛野菜のフア

取り組みます。また、企画販売推進による買取販売を強化し、

販路拡大および県行政と連携した輸出事業の拡大や有利販売に取り組みます。

ンづくりに向け、コロナ禍に対応した消費宣伝活動の強化と「えひめの食」企画と連携した情報発信、消費者への効果的な産地アピールに取り組みます。

⑨実需者ニーズに対応し、各取引先のギフト企画、カタログ販売の拡充を図ります。

⑩野菜類の業務需要に対応した加工仕向け等、既存取引先への販売強化および新規商品・商材の提案、新規取引先の開拓などに取り組みます。

(3)畜産部

①肉豚175,000頭、肉牛2,700頭の集荷頭数を達成するため、農場の技術成績向上対策を図るとともに、家畜伝染病予防法に基づいた防疫対策を推進し、各JA・県行政・本所と連携した生産基盤づくりに取り組みます。

②伊予牛「絹の味」生産者や「ふれ愛・媛パーク」認定農場の経営向上を図るため各生産者協議会を開設に向け、集荷・販売機能のスムーズな事業移管に取り組みます。

会の活動を中心として、生産者個別検討会の定期開催や全農クリニック検査事業への加入促進を行うとともに、野村臨時家畜市場や枝肉共励会等の定期開催に取り組みます。

③畜産生産基盤の再編整備をすすめるため、畜産クラスター事業や各補助事業の活用、畜舎賃貸事業の進捗管理に取り組みます。

④相場に左右されにくいマッチング販売やオレイン酸測定による付加価値販売を推進するとともに、効率的な消費宣伝活動を開催し、伊予牛「絹の味」「ふれ愛・媛パーク」の系統ブランド力向上・販売強化、農家経営の安定に取り組みます。

⑤JAえひめアイパックス(株)およびJA全農ミートフーズ(株)と連携し、品質・歩留り・スペック対応力向上に取り組み、製品品質向上による事業競争力強化に努めます。

⑥JAえひめアイパックス(株)およびJA全農ミートフーズ(株)と連携し、品質・歩留り・スペック対応力向上に取り組み、製品品質向上による事業競争力強化に努めます。

⑦JA全農ミートフーズ(株)愛媛支店開設に向け、集荷・販売機能のスムーズな事業移管に取り組みます。

みます。

一体となつて取り組みます。

(4)生産資材部

①肥料事業においては、化成肥料・果樹配合の銘柄集約による資材コストの低減に取り組むとともに、土壤診断による担い手への適正施肥指導の強化と土づくり推進の面展開による高品質生産支援に取り組みます。

②農薬事業においては、病害虫発生予察を基にした的確な防除指導の徹底、ジェネリック農薬および扱い手直送規格・大型規格の取り扱い拡大、市場価格調査を踏まえた弾力的な価格設定を行い資材コストの低減に取り組みます。また、無人航空機（ヘリ・ドローン）を活用した防除作業受託による労働力支援の拡充に取り組みます。

③物流・店舗関係においては、中国四国広域農薬物流センターを核とし、WEB発注の運用拡大や農家戸配達システム（DAS）を導入し、効率的な農家戸配達の確立に取り組み、物流サービスの向上とトータル物流コストの低減を目指します。また、県内JA資材店舗の再編にJAと

④園芸資材事業においては、重点銘柄を中心とした被覆加工品の予約推進強化および需要結集大口引取りの促進による資材コスト低減に取り組みます。また、規格型低コストハウスや補強対策、省力化システムなど新技術の提案・普及を図り施設園芸の振興に取り組みます。

⑤農機事業においては、令和3年度「JA・県域農機事業一体運営」を7月に組成し、県内参画JAとの体制構築に取り組みます。また、第2弾共同購入トラクター（33馬力）の導入促進により農機コストの低減に取り組みます。

⑥段ボール事業においては、全農グループ唯一の直営工場としての機能性を最大限發揮するところに、ISO9001・2015に基づく品質管理体制の強化により、安全で高品質な段ボールの安定供給と顧客満足度のさらなる向上に努めます。

また、販売資材全般にわたり多様化する包装ニーズや形態に対応し、省力化・低コスト化に繋がる付加価値商材の提案や、流

◆特集：JA全農・愛媛県本部「令和3年度事業計画」

通現場における最適なパッケージングの企画・提案活動に積極的に取り組みます。

(5)生活部

①県内産農畜産物消費拡大に取り組むため、積極的に商品開発をすすめ、地域農業の振興に寄与するとともに県内産農畜産物の安全・安心を消費者にお届けします。

(2)EC事業需要拡大に伴い、JATタウン（ネットシステム）を活用した在宅型事業の取り組みを強化し、農家所得の手取り向上に寄与します。

(3)地域・組合員ニーズに即したJA生活事業の活性化をすすめ、ライフライン店舗の維持とJA生活事業の収支改善を支援します。

(4)拠点型事業・県内産農畜産物販売拠点として、直売所とコンビニエンスストアとの一体型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゃ広場」の運営に取り組み、事業モデルの構築による地産地消ならびに地域消費者の利便性向上に努めます。

(5)JA・組合員・消費者に対する情報提供活動を展開します。

(6)管理部

①コンプライアンス意識の定着および、リスク管理態勢の向上に継続して取り組みます。また、関係部署と充分な協議・検討を行い、より効率的かつ、実効性のある態勢の確立に取り組みます。

(2)事業部との事業検討会等を通じて、収支管理・投資管理・要員管理を強化し、事業計画の達成に取り組みます。併せて、全農自己改革の着実な実践に向けて、グループ会社の健全経営に向けた指導・支援に取り組みます。

③JAとの意見交換会やJA巡回等を通じて、会員の意思を事業運営に取り入れ、JAへの支援強化に努めます。

(4)全農職員としての提案・企画・

交渉力向上に向けた研修の実施と、安定的な事業展開のため新規採用者の確保と要員の適正配置を図ります。

⑤JA・組合員・消費者に対する理解向上のため、各事業部門と連携して県産農畜産物の生産情報や消費拡大に向けた情報提供活動を

経営計画

1. 取扱計画

農業生産基盤の弱体化が進む中、持続可能な農業の実現に向け、「農家手取り最大化プロジェクト」の継続的展開を図り、取扱高（総供給販売高）は878億円とします。

2. 投資計画

さとも広域選果場や段ボール工場の機械装置更新、事業所の施設老朽化対策、消費電力削減のための設備投資、システム更新のための情報システム開発を計画します。

3. 要員計画

事業環境に対応した適正な要員体制を図ることとし、会内要員は令和3年度期首で186名とします。

表2 愛媛県本部 令和3年度取扱高（総供給販売高）計画 (単位：百万円、%)

事業	3年度計画	2年度計画	前年計画比	(参考) 3か年計画 3年度
営農食糧事業	3,086	3,258	95	3,680
園芸事業	42,661	43,643	98	47,353
畜産事業	18,290	18,137	101	19,723
生産資材事業	12,758	12,977	98	12,838
生活関連事業	10,976	13,870	79	15,282
合計	87,770	91,886	96	98,876

表3 グループ会社 令和3年度売上高計画 (単位：百万円)

事業	3年度計画	2年度計画	(参考) 3か年計画 3年度
(株)えひめ飲料	22,347	23,986	22,090
J Aえひめアイパックス(株)	3,490	4,017	4,232
J Aえひめフレッシュフーズ(株)	3,186	3,094	3,162
(株)ひめライス	4,291	4,755	4,945
J Aえひめエネルギー(株)	2,597	2,884	2,986
(株)えひめフーズ	537	590	692
J Aえひめ物流(株)	6,387	6,508	6,500
合計	42,835	45,834	44,607

工場の機械装置更新、事業所の施設老朽化対策、消費電力削減のための設備投資、システム更新のための情報システム開発を計画します。

機構改革と人事異動

J A全農えひめは、4月1日付けで令和3年度の機構改革と定期異動を実施しました。

機構変更では、畜産生産課と畜産販売課を統合した畜産課を設置し、肉用牛センターを廃止しました。また、生活事業の一部を本所中四国エネルギー生活事業所に移し、愛媛生活推進課を新設しました。

この結果、令和3年度は、6部14課12事業所となります（令和3年度機構図はP.8に掲載）。

人事異動は、令和3年度期首職員数219人中、異動者総数は93名です（課長・審査役以上の異動は以下のとおり）。

人事異動（令和3年4月1日付）※課長・審査役以上

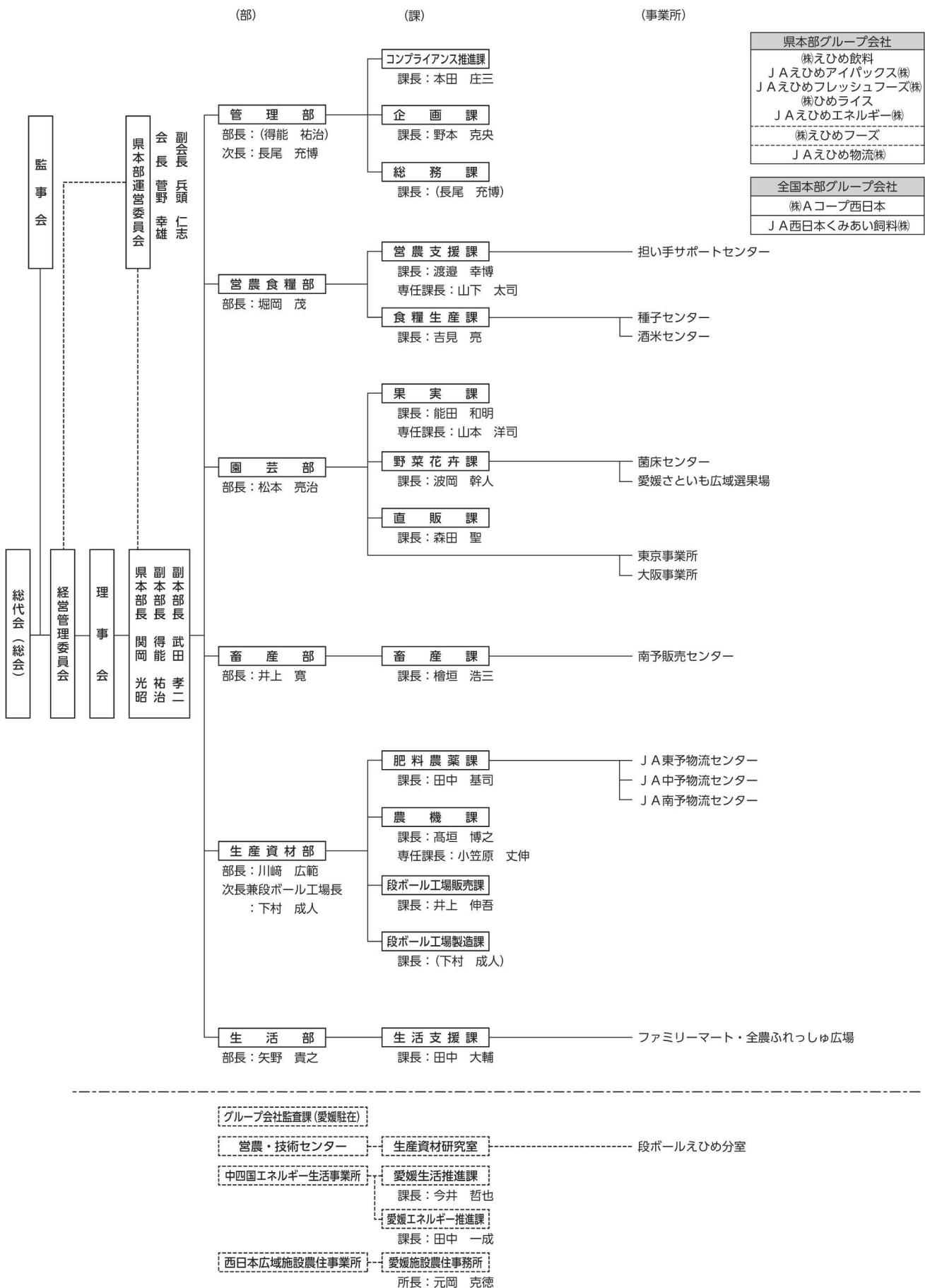
氏名	新任部署	旧任部署
得能 祐治	(審議)副本部長 管理・生活担当 管理部長 事務取扱	(監)生活部長
武田 孝二	(審議)副本部長 営農食糧・園芸・畜産・生産資材	(審議)副本部長 管理・畜産・生活担当
松本 亮治	(監)園芸部長	(審)直販課長
井上 寛	(監)畜産部長	(審)畜産生産課長
矢野 貴之	(監)生活部長	(審)J Aえひめエネルギー株式会社 出向
長尾 充博	(審)管理部次長 総務課長 事務取扱	(審)総務課長
下村 成人	(審)生産資材部次長 段ボール工場長 段ボール工場製造課長 事務取扱 本所 耕種総合対策部 営農・技術センター 生産資材研究室 段ボール愛媛分室室長 事務取扱	(審)段ボール工場製造課長 本所 耕種総合対策部 営農・技術センター 生産資材研究室 段ボール愛媛分室室長 事務取扱
本田 庄三	(審)コンプライアンス推進課長	(審)J Aえひめエネルギー株式会社 出向
澤田 浩二	(審)コンプライアンス推進課	(審)管理部次長 コンプライアンス推進課長 事務取扱
野本 克央	(審)企画課長	(副審)企画課（課長事故代行者）
池田 益夫	(審)営農支援課 担い手サポートセンター 兼務 食糧生産課 兼務	(審)食糧生産課長 種子センター所長 事務取扱 酒米センター所長 事務取扱
吉見 亮	(審)食糧生産課長 種子センター所長 事務取扱 酒米センター所長 事務取扱	(副審)食糧生産課（課長事故代行者）
森田 聖	(審)直販課長	(副審)野菜花卉課（課長事故代行者）
檜垣 浩三	(審)畜産課長	(副審)南予販売センター所長
井上 伸吾	(審)段ボール工場販売課長	(副審)段ボール工場販売課（課長事故代行者）
田中 大輔	(審)生活支援課長 ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場店長 事務取扱	(副審)生活資材課（課長事故代行者）
松浦 勇人	(審)本所 グループ会社統括部 グループ会社監査課	(審)J Aえひめ物流株式会社 出向
元岡 克徳	(審)本所 施設農住部 西日本広域施設農住事業所 愛媛施設農住事務所長	(審)本所 施設農住部 西日本広域施設農住事業所 愛媛施設農住事務所
田中 一成	(審)本所 総合エネルギー部 中四国エネルギー生活事業所 愛媛エネルギー推進課長	(副審)本所 総合エネルギー部 体制整備課
今井 哲也	(審)本所 くらし支援部 中四国エネルギー生活事業所 愛媛生活推進課長	(審)生活資材課長
崎山 一誠	(監)徳島県本部	(監)本所 総合エネルギー部 四国エネルギー事業所長
塩崎 洋章	(審議) J Aえひめアイパックス株式会社 出向	(審議)副本部長 営農食糧・園芸・生産資材
白石 明広	(審) J Aえひめアイパックス株式会社 出向	(副審)肉用牛センター所長
中山 祐二	(審)株式会社ひめライス 出向	(審)企画課長
佐尾 英二	(審) J Aえひめエネルギー株式会社 出向	(審)株式会社ひめライス 出向
大家 宏之	(審) J Aえひめエネルギー株式会社 出向	(審)本所 総合エネルギー部 四国エネルギー事業所 愛媛推進課長
八木 英士	(審) J Aえひめ物流株式会社 出向	(審)本所 施設農住部 西日本広域施設農住事業所 愛媛施設農住事務所長
石丸 保博	(審) J A西日本くみあい飼料株式会社 出向	(審)畜産販売課長
重松 秀樹	(審)愛媛県農業協同組合中央会 出向	(審)生産資材部次長 段ボール工場長 段ボール工場販売課長 事務取扱
室賀 敬二	(監)愛媛県施設農業協同組合連合会 出向	(監)園芸部長

【表の見方】職能資格呼称等は略称表記しています。

(参事)=(参事役)、(審議)=(審議役)、(監)=(監理役)、(審)=(審査役)、(副審)=(副審査役)

全農愛媛県本部 2021年度（令和3年度） 機構図＆ライン管理職等配置

令和3年4月1日現在（6部14課12事業所）





THE

ねつとわーく

「新たなラインナップで県産品愛用運動・消費拡大運動を展開!」

生活支援課



愛媛の味わい柑橘100

愛媛県産のポンカンといよかんを主体に愛媛の柑橘をブレンドした、深みのある爽やかな味わいの果汁100%ジュースです。

J A グループ愛媛は、今年も4月1日から、「県産品愛用運動」と「消費拡大運動」(J A グループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各JA・JA愛媛中央会・JA全農えひめ主催)を実施しています。この運動は、県内産主要農畜産物の消費拡大により、地域農業の振興とともに、良質で安全な県産品の愛用を進め、県民の健康増進をめざすため毎年取り組んでいるものです。ジュースの愛用運動は8月末まで、お茶は12月末までの期間限定となっています。今年度は生産量日本一である愛媛県産はだか麦を使用した「はだかんぼう麦茶」を消費拡大運動の取扱品目に追加し取り組みますので、是非ご賞味ください。

えひめ100みかんいよかん混合
えひめ100みかんいよかん混合

愛媛県産の温州みかんといよかんを主体にブレンドした、濃い果汁感が楽しめる果汁100%ジュースです。

POM 塩と愛媛の夏かんきつ
柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品柑橘を使用したゼリー飲料です。

POM 愛媛せとかゼリー
伯方の塩と愛媛県産夏みかんと河内晩柑を使用した水分・塩分補給、暑さ対策飲料です。

はだかんぼう麦茶
生産量日本一の愛媛県産はだか麦を100%使用した、昔ながらの味と香りが特徴の麦茶です。

POM ポンスパークリング
愛媛県産の茶葉を100%使用した、心地よい苦味とさっぱりした後味の緑茶です。

愛媛の清見
愛媛県産の清見を使用した、甘みと酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。

令和3年度「えひめみかん・いよかんジュース 県産品愛用運動・お茶消費拡大運動」価格表

(単位：円)

品名	規格(ケース)	参考組合員価格(税込)
えひめ100みかんいよかん混合	1ℓ×6本	2,280
愛媛の味わい柑橘100	1ℓ×6本	2,520
愛媛の清見	1ℓ×6本	2,070
POM 塩と愛媛の夏かんきつ	490ml×24本	2,400
POM ポンスパークリング	410ml×24本	2,400
POM 愛媛せとかゼリー	295g×24本	2,400
愛媛の特煎茶	500ml×24本	3,000
はだかんぼう麦茶	500ml×24本	3,000



いずれの商品も、例年と同様に数量限定で取り扱っています。運動期間中でも品切れの際には販売を終りますので、早めのご注文をお願いします。詳しくは最寄りのJAにお問い合わせください。

ふるさと ESSAY

Vol.289



愛媛の自然に憧れて

「えつ！ 4人姉妹なの？」よく驚かれます。

そうなんです、4人姉妹の長女です。6人家族という賑やかな環境で育つてきました！ 姉妹全員が集まると『若草物語』そのもの。話は途切れず、同じようにケラケラと笑います。

そんな家族での思い出といえば、年に1回久万高原町の農園に行くこと！！毎年、丸1日を森の中で過ごす恒例行事がありました。とても楽しみなイベントで、山に行くにもかかわらず、お気に入りの洋服を着ていったのを覚えています。

曲がりくねった山道を進むと：ひらけた広場がお目見え。ぶどうを摘んだり、鳥のさえずりに目を閉じたり、思いつきり深呼吸をしたり。あ、山菜も美味しかったな！「空気が美味しい」という言葉を知った場所でもあります！とにかく、色々な思い出が詰まっています。仕事や習い事で家族全員が揃うことが多くなかったからこそ、大事なイベントでした。

幼少期から、ずいぶん自然に憧れがあつたんでしょう。最近の休日の過ごし方はとすると、釣り・キャンプ・旅行など：見事に、アウトドアばかりです（笑）。釣りたい魚も、行きたいキャンプ場も、旅行先で食べたいものも尽きません。何より全身で自然を感じている瞬間が大好きなんです。

嬉しいことに、仕事でも好きなことに関するお話を伺う機会があります。

例えば、入社1年目の時には『釣りガール始めました！』というラジオ番組を持たせてもらっていました。週に1回釣り場にいる方にインタビューをして、その時の釣果や釣り場の雰囲気をお送りする番組です。録音番組なので、複数回まとめて録つてもいいのです

が、私はほぼ毎週釣り場に行って収録をしていました…。できるだけ新しい

情報を届けするという面に加えて、釣り場で話すのが癒しの時間だったのです。社外で収録をすると、その分番組の制作時間も長くなります。先輩には迷惑をかけたと思いますが、私欲な

岡内 ひかり
HIKARI OKAUCHI

■プロフィール■

南海放送アナウンサー。
松山市出身、在住。1995年（平成7年）9月27日生まれ。血液型B型、てんびん座。愛光高等学校、中央大学卒業。2018年南海放送入社、ラジオ制作部所属。2020年アナウンス室所属。趣味は釣り、キャンプ、旅行、音楽ライブ。

◆南海放送テレビの担当番組

「もぎたてテレビ」 毎週日曜、11:45~12:50
「元気！えひめ農業」奇数月の日曜、16:00~16:30
「キラリ☆夜なカフェ」毎週金曜（木曜深夜）、0:54~1:04
「大好き！まつやま」 毎週火曜、20:54~21:00

◆南海放送ラジオの担当番組

「週刊 みきゃんラジオ」毎週土曜、11:10~11:20



▲「元気！ えひめ農業」と一緒に担当している藤田晴彦さんと。番組を担当して1年経ち、黄色いつなぎ、慣れてきました！

だけでなく（！）少しでも楽しい釣り場の様子が伝わっていたらいいなと思うばかりです（笑）。

そして、現在担当しているテレビ番組『元気！ えひめ農業』では、自然とともに仕事をされている農家の方々にお会いできます！ 担当してまだ1年なのですが、毎回次のロケが楽しみです。ごつごつとした分厚い手で、農作物を見せてくれるお父さん。カメラがあると恥ずかしいと言葉ながら、慣れた手つ

きで畑の手入れをするお母さん。将来は自分の農園が欲しいんです、お互い頑張りましょうと言う若手農家さん。どの方も、かつこいい！！ お話を聞いていると、なんだか愛媛が誇らしくなるんです。

先日は、今治市のいちご農家・阿部さんご夫婦にお会いしました。先代からだと50年以上いちごを育てていらっしゃいます。寒い時期だったので、作業は大変ですよね…と伺うと、「ハウスは温かいし、土触るのに動くやろ？これがね、冬は結構いいんよ」と。

私も素敵で、ハッとしたました。

さらに。ご夫婦は、花をつけた段階でどんないちごになるのか分かるそう。：なんで？！一緒に番組を担当している藤田晴彦さんと顔を見合わせました。目の前にあつたいいちごの花をジッと見てみても、分かるのはせいぜい花の大きさの違いです。説明を聞いて改めて見ても、うううん。長年の経験と知恵、おそるべし！！ ゆいなあ。親は、子の考えていることが分かるといいますが、そういうった感じなのでしょうか。奥さんが笑いながら言つた「いちごはもう食べんよ！」に、計り知れないほど深い愛情を感じました。いちご達も、ご夫婦の下で育つて幸せなこと間違ひなし！ です！

このように取材に行くたびに誇らしい気持ちになり、素敵な農作物やお人柄を伝えたいという思いが強くなります。私は、この春でアナウンサー2年目を迎えました。心で感じたことを、もつと鮮やかにお伝えできるようになります！『元気！ えひめ農業』を始め、他番組でも、県内さまざまな場所に行ける日を想うとわくわくします。思うように動けない日々が続きますが、皆さんにとつても、少しでも彩りある年度になりますように願っています！



▲阿部さんご夫婦が育てたいちご。こんな形のいちごも取れるんだそう！

「JA全農えひめPresents 山瀬理恵子のアス飯®」 がラジオ局FM愛媛でスタート！

JA全農えひめ presents
山瀬理恵子の
アス飯®

また、「Season2」では、リスナーのみなさまから直接、「食」に関する相談を寄せていただき、その相談に対し山瀬理恵子さんが回答します。アス飯の視点から、お客様がスポーツをしている家庭の食事や、体調を整える食事、体を作りうえで基礎となる「食」に関するお悩みをズバリ解決！

さらに、「アス飯料理教室」として、山瀬さんと一緒に愛媛の旬の食材を使った料理動画を無料配信します。配信内容や配信日が決まり次第、JA全農えひめホームページやFM愛媛ホームページ、番組公式インスタグラム等でお知らせします。



サッカー元日本代表・現J2愛媛FC山瀬功治選手の妻で料理研究家の山瀬理恵子さんとMC山崎愛さんが毎週、健康を維持するための栄養素や「食」の大切さについてトークを繰り広げます。

また、「Season2」では、リスナーのみなさまから直接、「食」に関する相談を寄せていただき、その相談に対し山瀬理恵子さんが回答します。アス飯の視点から、お客様がスポーツをしている家庭の食事や、体調を整える食事、体を作りうえで基礎となる「食」に関するお悩みをズバリ解決！

さらに、「アス飯料理教室」として、山瀬さんと一緒に愛媛の旬の食材を使った料理動画を無料配信します。配信内容や配信日が決まり次第、JA全農えひめホームページ、番組公式インスタグラム等でお知らせします。

「アス飯」は、平成26年始動の京都新聞朝刊ジュニアスポーツ面で山瀬さんが連載していたタイトルコーナー名です。連載開始時、京都本社運動部のデスクだった岡本社記者が「あしたのアスリート飯」を略して「アス飯」と名付けました。アスリートの夫を持つ山瀬さんが考案した手軽に作れる健康的な「アス飯」レシピは、スポーツをする人はもちろん、健康を考える大人や子ども、どんな人にも食べてもらいたい家庭料理です。「毎日何気なく食べている食材を深く知り、感謝の気持ちを持って食べよう」

「JA全農えひめ Presents 山瀬理恵子のアス飯®」 番組公式インスタグラム 始めました♪

毎週日曜日に最新情報を発信します！

URL : https://www.instagram.com/ja_zenno_asumeshi/



「JA全農えひめ Presents
山瀬理恵子のアス飯®」放送中！

【放送時間】毎週木曜日
12:05 ~ 12:15
(「noonday pop」内)

【放送局】FM愛媛

■愛媛いよかん大使が県内マスコミを訪問

旬のいよかんをPR



愛媛いよかん大使は、2月8日、県内マスコミ各社を訪問し、バレンタインデーのプレゼントとして旬を迎えた愛媛いよかんを贈呈しました。JA全農えひめがカップルの記念日として提唱する4月14日「オレンジデー」をアピールし、「バレンタインデー」「ホワイトデー」など各記念日ごとに旬のかんきつを贈りあう「愛のオレンジロード」の定着を図ろうと実施。愛媛新聞社や各テレビ局では、"色良し、味良し、香り良し"三拍子そろった愛媛いよかんをPRするとともに、「家族や大切な人と一緒に食べてほしい」と呼びかけました。

なお、民放各局とタイアップして視聴者向けのかんきつプレゼントキャンペーングも実施しました。

■えひめ米品質向上推進大会

良質米共励会表彰など36名を表彰

◆良質米共励会▽最優秀賞
△大澤和彦(周桑)◆同【農家の部】
△優秀賞△加藤巖(えひめ未来)、
△優良賞△未来、△谷口勝彦(ひがし
わ)

大会では、令和3年産米の作付計画の基本的考え方を示したほか、平成30年産から本格生産を行った「多収米」の取り組みや、県育成新品种「ひめの凜」の令和2年度総括と今後の方向性について報告。また、愛媛県農産園芸功労知事表彰のほか、令和2年度の県良質米・麦作・大豆共励会や多収米収量コンテスト、ひめの凜食味コンテストの表彰式を行いました。

JAと市町名)。主な受賞者は次の通り(かつこ内は



△田坂隆明(えひめ未来)、大西薰一(松山市)、武田正(ひがしうわ)◆同【農家の部】「ヒノヒカリ・にこまる」部門△優秀賞△越智靖博(周桑)、喜安眞造(松山市)△優良賞△工藤雅志(周桑)、渡辺勝司(同)◆麦作共励会【農家の部】△優秀賞△井上勲(ひがしうわ)△優秀賞△アグフード(えひめ未来)◆同【集団の部】△最優秀賞△農事組合法人徳丸生産組合(松山市)◆大豆共励会【農家の部】△最優秀賞△農事組合法人大頭(周桑)、農事組合法人おかだファーム(松山市)◆同△最優秀賞△農事組合法人妙口原生産組合(周桑)△優秀賞△農事組合法人久妙寺生産組合(同)◆多収米収量コンテスト△最優秀賞△山内正紀(周桑)△優秀賞△近藤好弘(えひめ未来)、長谷川雅一(同)◆愛媛県農産園芸功劳知事表彰(水田農業部門)△伊東章(西条市)、梶原通政(西予市)、仙波正幸(松山市)、農事組合法人たちばな(今治市)◆ひめの凜食味コンテスト△最優秀賞△坂本憲俊(東温市)△優秀賞△大澤勝義(西条市)、西坂道輝(同)、梶原雅嗣(西予市)、河野昌博(同)△優良賞△菅辰博(西条市)、越智明(今治市)、村上為男(同)、喜安正和(松前町)、舟本孝行(西予市)

■愛媛県産イチゴを贈呈

児童福祉施設にひな祭りプレゼント

JA愛媛野菜生産者組織協議会とJA全農えひめは、3月2日、松山市東本の児童養護施設・愛媛慈恵会に、県内産イチゴ「あまおとめ」と「紅ほっぺ」合わせて68パックを贈りました。

これは、社会貢献活動の一環として、楽しいひな祭りを迎えてもらおうと毎年実施しているもの。同協議会とJA全農えひめは、同施設を含めた松山市内3か所の児童福祉施設に県内産イチゴ244パックをプレゼントしました。

愛媛慈恵会には、JA全農えひめ野菜花卉課の職員が訪問し、同施設の宮崎博文施設長にイチゴを手渡しました。宮崎施設長は「本日はありがとうございます。コロナが収束して、皆がのびのびと生きようになることを祈っています」と感謝を述べました。

同施設には、この他にJA全農えひめから昨年12月にクリスマスプレゼントとして、もち米70kgと「POM愛媛ぽんかん」などジュース9ケースを贈っています。



J A 愛媛野
菜 生産者組織
協議会と J A
全農えひめは、
3月2日、松
山市東本の児
童養護施設・
愛媛慈恵会に
県内産イチゴ「
あまおとめ」と「
紅ほっぺ」合
わせて68パ
ックを贈りま
した。

■中型共同購入トラクター販売開始

生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援

J A全農えひめは、中型共同購入トラクターの積極的な推進を行っています。共同購入トラクターの取り組みは、JA全農が、トラクターを一括発注することで価格を押さえ、生産者の機械導入コストの低減、さらには営農規模と栽培品目の拡大を支援することを目的に実施。生産者から要望の多かつた中型トラクターを開発しました。

2月5日に共同購入トラクターを購入した當農法人久保谷ライスセンターの松下保志さんは、「高齢化やコロナ禍等の影響で作業委託を受けるケースが増えてきており、作業スピードが必要。今回購入した中型トラクターは馬力も大きくなり、圃場規模にもマッチしている」と話しました。

農機課は、「全国一万人の声を活かしたトラクターを多くの生産者に売り込んでいきたい」と意気込みを語ります。

中型共同購入トラクターは、愛媛県内の各JA農機センター等で販売中です。興味のある方は是非、ご相談ください。

■ポンジュースお役立ちグッズプレゼントキャンペーン

当選者500人にポンジュースやオリジナルグッズをプレゼント



12本とオリジ
ナルクリッ
プ・ふせんが
190g缶×
料は、2月19
日、松山市
本社で、ポ
ンジュース

当たる「ポンジュースお役立ちグッズプレゼント」のキャンペーン抽選会を実施。山本阜治社長らが、10,465通の応募ハガキの中から当選者500人を選びました。

同キャンペーンは、発売以来ロングセラーを続ける「ポンジュース」の拡販をめざし、令和2年12月1日から令和3年1月31日まで実施。北海道から沖縄まで全国各地から幅広い応募があり、子供の頃から飲んでいます」「家族みんなで大好きです」などの声が寄せられました。

同社では「こうした取り組みを通じて日頃のご愛顧に感謝し、ポンジュースをはじめ、POMブランドのファン拡大につなげたい」と意気込みます。

農の風景を読んで。明るいオレンジ色で気持ちも華やぎ、つり革にはみかんがついていてとてもかわいらしく、県民の私もぜひ乗ってみたい電車になっていました。

(今治市・PN:ひめハクママさん)

みかんつり革は実際に見てもインパクトが大きかったです！「みかん電車」は4月8日～14日にも実施しますので、見かけましたら是非乗ってみてください！

愛媛発祥「オレンジデー」、素敵ですね。なんといっても愛媛県といえばかんきつです。コロナ禍の中、なかなか人と会う機会も減っていますが、是非かんきつを食べ、愛媛をはなれた地元の人はふるさと「えひめ」を味わってほしいものです。

(松前町・田中克也さん)

コロナ禍の中では、県外の人と会う場面が極端に少なくなってきたように思います。そんな時だからこそ、是非4月14日「オレンジデー」にかんきつを贈りあってはいかがでしょうか。

ふるさとESSAYの酒井久夫さんの木工に感動しました。「おれんち忍妻連合」や「酒井建設夜間部」、「月火醉木堂」などの名付から、ユーモアで創造性のある人柄が伝わってきます。特に写真のかまぼこ板で作った「朝食セット」の実物を見て・さわってみた

いです。松山での作品展楽しみにしています。(今治市・加藤仁美さん)

酒井さんの作品展、私も是非行ってみたい！詳細が分かりましたらあぐり～どでもお知らせしたいと思います！

特集を読んで。高齢化に伴い農家の労働力が不足しており、人材派遣会社等との連携や農福連携を活用した人材確保に取り組んでいただいているが、今後益々労働力が不足すると思われる所以マッチングに取り組んでほしいと思います。

(大洲市:大本昭裕さん)

従来からの高齢化といった問題に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあって労働力確保はより厳しい状況となっています。今後も農業者や現場のニーズに応じたマッチングをすすめ、労働力不足解消に向けて取り組んでいきます。

「ポンジュースを飲んで金メダル」を読んで。私も学生時代、部活動でスポーツをした後はオレンジジュースを飲むといいよと言われていました。山口選手にはビタミンたっぷりのポンジュースでは頑張ってほしいなと思いました。

(今治市・PN:O.R.さん)

昨年のパラリンピックが開催延期になるなど、コンディションの調整が難しい局面ですが、ポンジュースでしっかり

りと体調を整えて、是非山口選手が金メダルを持ち帰られることを祈っています。

毎月のレシピ、楽しみにしています。来月にはいちご狩りに行くので、そのイチゴを使っておいしいスイーツに挑戦します。これからもおいしいレシピを楽しみにしています。

(松山市・古鎌柚貴さん)

今回のいちご料理もおいしそうですね！作ってみたいですが、残ったお菓子の材料を消費しきれる自信がない…。

お知らせ

読者名簿更新について

J A全農えひめ情報誌「あぐり～ど」は、愛媛県内J Aの役員(非常勤理事・監事含む)・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

私が担当した昨年度「あぐり～ど」の編集後記を見返して、ほぼ毎回コロナウイルスを話題にしていることに今更ながら気が付き、話題が偏りすぎたと反省しているところです(今回もコロナを入れてしましました(泣))。世界的にワクチンの接種も始まり、令和3年度は少しでも状況が好転することを祈っています。

(純)

今月の クイズ

新たに愛用運動で取り扱う、愛媛県産はだか麦を使つた麦茶は？

「は○か○ぼ○麦茶」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などを書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2021年5月15日(当日消印有効)

発表

「あぐり～ど」6～7月号で発表します。

当選者発表

2～3月号の答えはさといも「第④③回」でした。

たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に

図書カード1,000円分をお送りします。

大西 美紀さん(四国中央市)

河村 直美さん(四国中央市)

近藤 千恵さん(西条市)

村上 かよさん(今治市)

河原 信子さん(松山市)

西中 丈二さん(松山市)

武田 麗子さん(大洲市)

奥田 愛梨さん(内子町)

井上 智子さん(西予市)

米花佐智子さん(八幡浜市)

実需者に求められるために！

はだか麦の選別は 2. 2mm篩目で！

1 品質を上げよう！

★実需者は、粒ぞろいのよい麦の安定生産を望んでいます。篩目2. 2mmで整粒歩合を高めましょう。

2 麦加工品を応援しよう！

★愛媛県産はだか麦は34年連続日本一。今後も麦みそ、押し麦、麦茶、焼酎などをみんなで購入し、愛媛のはだか麦を応援しましょう。

※篩目2. 2mmは令和3年度愛媛県産地交付金のはだか麦に関する必須要件になっています。

NOW NOW COOKING

今月の素材

タケノコ



指導／愛媛調理製菓専門学校 月原 光崇 先生

下処理は、米ぬかと鷹の爪を加え、茹で、加熱後放置し、冷水にさらし、皮むきを

筍 海老真蒸はさみ揚げ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約95kcal

タケノコ (根もとまで)	1本分
アスパラガス	2本
④ ダシ	400cc
酒	50cc
塩	小さじ1～
薄口醤油	大さじ1～
海老 (むき身)	50 g
すり身 (白身魚)	50 g
卵白	1/2個分
長芋	10 g
【天ぷら衣】	
薄力粉	1カップ
卵黄	1個分
冷水	180cc
揚げ油	適量

作り方

- タケノコは下処理後、④で炊く。
- ②をフードプロセッサーにかけ混ぜ合わせる。
- ①を3mm幅の薄切りにし、②をはさみ、打ち粉をして③にくぐらせ、180°Cの油で揚げる。
- 3cm長に切ったアスパラガスも同様に揚げる。
- ③を食べやすい大きさに切り、④とともに器に盛りつける。

筍寿司

〈材料・5個分〉 ※1個あたり約186kcal

タケノコ (根もとまで)	1本分
酒	100cc
④ みりん	50cc
濃口醤油	50cc
寿司飯	1合分
木の芽	12枚

作り方

- タケノコは下処理後、縦半分に切り、④に20分間漬ける。
- ①の汁気を拭き取り、グリルで焼き目をつける。
- 木の芽は粗く包丁でたたき、寿司飯に混ぜる。
- 巻きすに②を置き、③のせて均等に広げて巻き、形を整える。
- ④を食べやすい大きさに切り、器に盛りつける。

椀物 筍真蒸

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約88kcal

タケノコ (穂先部)	2本分
ダシ	400cc
酒	50cc
④ 塩	小さじ2～
薄口醤油	大さじ1～
すり身 (白身魚)	200 g
卵白	1個分
長芋	20 g
ワカメ	20 g
木の芽	12枚
ダシ	800cc
塩	小さじ1～
薄口醤油	少々

作り方

- タケノコは下処理後、④で炊き、先端部は千切りをしておく。
- ①の先端以外を、サイコロ状に切る。
- ②をフードプロセッサーにかける。
- ②と③を混ぜ、丸く形を整え、沸いた湯に入れて火を通す。
- ワカメは熱湯ににくらせて氷水に落として色だしをし、食べやすく切る。
- ④と⑤を椀に盛りつけ、温めた⑥を注ぎ、木の芽と①の千切りを盛る。



せとか特有の華やかな味わいが楽しめる
ぶるりんとしたやさしい食感のゼリー飲料です。



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

会えない日も、
おうちで
えひめ。

全国発送承ります。

えひめ100 みかんいよかん混合 参考組合員価格 2,280円(税込) 1,000ml×6本/ケース	愛媛の味わい 柑橘100 参考組合員価格 2,520円(税込) 1,000ml×6本/ケース	愛媛の清見 参考組合員価格 2,070円(税込) 1,000ml×6本/ケース	POM 塩と愛媛の夏かんきつ 参考組合員価格 2,400円(税込) 490ml×24本/ケース	POM ポンスパークリング 参考組合員価格 2,400円(税込) 410ml×24本/ケース	POM 愛媛せとかゼリー 参考組合員価格 2,400円(税込) 295g×24本/ケース	愛媛の特煎茶 参考組合員価格 3,000円(税込) 500ml×24本/ケース	はだかんぼう麦茶 参考組合員価格 3,000円(税込) 500ml×24本/ケース
愛媛産の温州みかんといよいかなを主体にブレンドした濃い果実感が楽しめる果汁100%ジュースです。		愛媛産の清見を使用した、甘味と酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。		伯方の塩と愛媛県産夏みかんと河内晩柑を使用した水分・塩分補給・暑さ対策飲料です。		“ポンジュースの新しい美味しさ”が味わえる大人向けの果汁30%炭酸飲料です。	
						柑橘王国「愛媛」の贈られた逸品柑橘を使用したゼリー飲料です。	
						愛媛県の茶葉を100%使用した、心地よい苦味とさっぱりとした後味の緑茶です。	
生産量日本一の愛媛県産はだかんを100%使用した、昔ながらの味と香りが特徴の麦茶です。							

※宅配運賃について ●同一受注同一送付場所で5ケース以上の場合は配送運賃は無料です。 ●5ケース未満の場合は、ケース毎に700円(税込)加算します。

お問い合わせ・ご注文は 県内各JA・JA全農えひめへ



「えひめの食」Instagram
Follow Me!
ehimenosyoku



あぐり～どはWEBでも読めます
<http://www.eh.zennoh.or.jp>